

例会報告



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
3 月 諏訪高島城② 新井 典仁

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>

今日はテニスの試合時間についてお話をしたいと思います。テニスの放映を見ていて長いと感じられたことはありませんか。野球も長く 3 時間を超える試合になるととても長いと感じます。サッカーだと試合時間が決められています。会議とスピーチは短いほどいい、と言いますが、テニスの試合時間は大変長いです。



テニスの長い試合ですと 11 時間と言うような記録があります。5 セットマッチで 1 セットが 6 ゲームとなっています。先に 3 セットを取ると勝ちになります。試合時間が長いのでテレビ中継が嫌われることもあります。TV は深夜に放送します。試合時間の短縮が話題となったことがあるそうです。グランドスラムの男子が 3 セットマッチでいいかとなると、これもまた問題です。5 セットマッチだからこそ、心技体すべての総合力の戦いになるのです。以前お話したようにテニスの試合中はコーチングが禁止ですので、まさに選手の心技体の総合力、人間力の戦いとなります。

結果的には 5 セットマッチになると総合力の戦いとなるので「番狂わせ」が起きにくいです。3 セットになったらランキング下位の選手が勝ち上がってくるかもしれません。個人戦ですので大体はランキングの上位の選手が勝つこととなります。

飛騨の中高校では、軟式テニスが発達していますが硬式のテニスクラブはありません。聞いた話では硬式テニスでは試合時間が長くなるからクラブ活動は出来ないそうです。

これは卓球でも言えます。卓球は 7 セットマッチになっています。卓球やはり番狂わせは少ないです。シート権のある選手が勝ち上がってきます。

この試合時間の長さを人生に重ねることが出来ると思います。人生は長い期間にわたり、まさに人間の心技体の総合力を尽くすこととなると思います。

<幹事報告>

◎第 2630 地区奉仕プロジェクト部門社会奉仕小委員会委員長より
・環境保全調査依頼について

<受贈誌>

地区職業奉仕部門委員長 「ロータリーの扉を開く言葉」「ロータリー語ときあかし辞典」

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	34 名	1 名	35 名	40 名	87.50%
本日	33 名	—	33 名	40 名	82.50%

<本日のプログラム>

会員スピーチ

萱垣 敬慈

皆さんこんにちは。1 月にオーストラリアに行ってきました人生初のメイキャップをしてきました。



昨年の 7 月 16 日から娘が皆様のご支援のもとで念願の留学に行かせていただいております。ありがとうございます。この 8 か月で英会話力も上がり向こうでの生活を楽しんでいるようです。来月からはオーストラリア大陸を 1 ヶ月かけて半周してくるキャンプに参加し、それが終わった 5 月の下旬頃に日本に帰国してくる予定です。

そこで今回は様子を見に行くという口実で旅行をしてまいりました。この旅行中にメイキャップして来たわけですが、今回の渡航とロータリークラブの青少年交換プログラムを通じて 3 つ感じた事がありましたのでその事も踏まえてわくわくしてきた話をさせていただきます。

まず 1 つ目は、今回オーストラリアには 1 週間会社を休んで行ってきたわけですが、実は私会社を立ち上げて 16 年目になりますけれどもこの 16 年、1 週間会社を留守にするという事はありませんでした。あってもせいぜい 2 日、その間も常に電話がつながる状態にして職員と連絡をやり取りしていました。恐らく高山西ロータリークラブにお誘いいただければ会社を 1 週間留守にしておかけるなんていう機会は一生無かったものと思います。と言いますのは、私が入会して間もなくの頃、内田さんからこう言われました。社長が会社を留守にしても問題が無いようにすることが結果的に社員を成長させ会社を成長させることである。そのためには自分が成長しなければいけない、自分を成長させる場がロータリーだぞと。あれから 1 年半ほど経ちましたがこうして 1 週間無事に行ってきたことができたのはロータリークラブのお陰だとひしひしと実感しています。

次に 2 つ目ですが、このロータリー青少年交換について実感していることを話させていただきます。今我が家にノエミがホームステイしています。まだ 4 日しか一緒に生活しておりませんが娘と同世代の女の子ということもあり、オーストラリアで受け入れていただいている家族の状況を想像すると感慨深いものがあります。日本語も上達して、日常生活での会話にはほとんど支障がありません。先週の土曜日から我が家に来ていますが、日曜日に斐太高校までの通学路を確認しておこうかということで、自転車を下二之町から大新町を通って一緒に学校まで行って来たのですが、道行く人に「こんにちは」「こんにちは」と自分から挨拶して行くんですね。食べ物も納豆以外は何でも、おいしい、おいしいといって食べますし、ルールもしっかり守ります。教えたわけではないですが玄関では靴を揃えます。帰ってきたら、必ず私か、妻を探して「ただいま」

ロータリー：変化をもたらす

例会報告

と言います。箸もきれいに使います。きっと下屋さん、山下さん、田近さんの所でしっかりと教わってきたのだとは思いますが、自分の子供よりも行儀がいいので驚いています。学校の授業も漢字が少ない数学はついていけているようです。今、我が家では小学4年生の娘と一緒に漢字ドリルをやっています。

未成年の子供を1年近く文化の違う国に行かせるには親にも不安があります。しかし、ノエミのご両親は現在お兄さんも彼女に次いで日本へ留学させています。きっとこの半年間の彼女の話聞いて日本を信頼してくれているのだと感じました。その背景には第一ホストファミリーの下屋さん、第二ホストファミリーの山下さん、第三ホストファミリーの田近さんが家族同様に愛情をもってノエミを迎え入れてくださっていたこと、そして例会で皆さんが暖かい声掛けをしてくださり、高山西ロータリークラブ全体でノエミを支えてくださっている雰囲気が伝わっている結果だと感じています。今回私もオーストラリアに行き、娘の第一ホストファミリーと第二ホストファミリーに会ってきましたが、どちらの家族も暖かく私達を迎え入れていただき、それぞれ1日づつ予定を空けて一緒に過ごしてきました。

そして3つ目ですが、Make up の難しさについてです。Make up の難しさというよりは私の英語力の無さという方が適切かもしれませんが、当初メイキャップを娘がお世話になっているホストクラブのレイクマッコリークラブにお礼と挨拶を兼ねて行くつもりでおりました。昨年の12月にMake up を組んでもらうために中澤さんに本当に骨を折っていただいてレイクマッコリークラブに何度も何度も連絡を取ってもらっていたのですが、連絡が取れないという事で、娘を介してMake up の申し込みをする事となりました。できるだけ留学中は私達親からは娘に連絡をしないようにしていたのですが、まあ今回ばかりはという事で娘にそちらのクラブでMake up したいから会長さんに伝えてくれないかと話しました。そして数日後娘から連絡がありまして、レイクマッコリークラブの会長さんがMake up って何？と聞いてきたというのです。会長さんが言われるにはロータリークラブのルールを見なければ、Make up なんてものは書かれていない、日本の独自のルールではないか、お父さんに確認してもらってと言われたとの事でした。そんなことは無い、少なくとも私が入会してから下屋さんも坂坂さんも海外でMake up してきたという話はして見えましたが、何とんでもなく狭土さんから直接海外のMake up のアドバイスをいただいていたので、絶対そんなことは無い、もう一度しっかりと説明してと話しましたところ、娘からそもそもMake up って何？正確に一言で分かりやすく説明してと返されました。間違った事を言っはいけないと思ひ、初心にかえり昨年4月に新入会員オリエンテーションの際にいただいた「今日からロータリアン」で調べようと思ったのですが、ここには詳細は「標準ロータリー定款を参照しなさい」と書いてありますので、この「ロータリアンの手引き」を改めて読み直したのですがMake up については3ページに渡って書かれていますので一言で説明しろと言われても困ってしまったのですが、その時ふと天の声とでも言うのでしょうか、昨年の秋頃に米澤会長が会長の時間の際にMake up について話してみえたなど、急に降りて来まして、一生懸命思ひ出そうとするのですが、どうしても粉飾決算の話のインパクトが強く肝心のMake up の話が思ひ出せなくて断念しました。娘と再度連絡を取りまして、一体どうやって伝えたのと問いますと、会長さんは忙しいからLine でやり取りしているとの事でのやり取りを写真で送ってもらいました。するとそこには恐ろしいやりとりが繰り返されていました。その写真がこちらです。私の発音が悪くて間違ったMay Cap についてやり取りされていました。こちらが会長さんのコメントですが『やあ杏花！私はロータリーのルールを見て来たんだけどMay Capのルールを見つけることが出来なかった。そのことをあなたのお父さんに確認することができる？もしかしたら日本独自の伝統かもしれないよ。』



ここは何とか誤解を解いてMake up ができるようになり、今回はシドニーのモスマンロータリークラブの例会に出席させていただけることになりました。食後に会員スピーチがあるのですがこの日はシドニーの歴史といいですか、シドニーのランドマークでもありますオペラハウスについてどういった経緯である特徴のあるデザインになったかという内容でした。いや内容でしたという確認はありませんが、だったと思います。

この会員スピーチですが卓話は毎回くじ引きで決められるようです。例会場に入ってきた時に全員くじを引くのですがくじには番号が振ってありまして、例会終了後に会長が再びくじを引きます、会長が引いた番号と同じ番号を持っている会員が次回の卓話をするシステムでした。

Make up が無事に終わりましたので、観光モードで町を歩いていますと突然現地の人に、私は有名な写真家だ私の写真を買わないか？と声を掛けられました。これがその写真ですが、200ドルです。日本円にしますと、18000円程でしょうか。メイキャップのとてつもない緊張から解放され、気も緩み切っていたものですからついつい素敵写真だなーと思ひ購入しましたが、帰国して冷静になると少し高い買い物だったかなと思っております。もしこの写真に魅力を感じる方がいらっしゃいましたら、来年の新年例会のオークションに18000円から出品いたしますので、是非入札をお願いします。今、娘はベルモントのロータリークラブが引き継いで受け入れてくださり、変わらず楽しい生活を送っているようです。このさるぼぼは鴻野さんに準備していただき、私がオーストラリアに行った際に持っていったものです。先日ベルモントロータリークラブのインスタグラムに、交換留学生の杏花が故郷の高山のロータリークラブから贈り物を持ってきたと紹介していただいています。

ということでとてもわくわくした1週間を過ごしてきました。皆様のご支援の下この青少年交換プログラムに娘が参加でき、またノエミを温かく受け入れてくださり、心から感謝いたします。御清聴ありがとうございました。

ロータリー：変化をもたらす

例会報告



●塚本 直人さん

本日は語呂合わせで「感謝」の日39(サンキュー)デーだそうです。お陰様で長女は3/6 中山中学校を卒業しました。あっという間の3年間でした。ありがとうございます。3/18 に零宮祭が開催されます。多くの方にご協賛を頂き、これもまたありがとうございます。有意義に活用いたします。

●伊藤 松寿さん、平 義孝さん、井上 正さん、住田 泰典さん

青少年交換留学生の萱垣杏花さんから近況報告が届きました。先日ホストクラブのベルモントロータリークラブで生まれ故郷の高山市を紹介する内容のスピーチをしたそうです。会員20名程のクラブですが、その内の5名が高山を訪れた事があるor知っているそうです。高山の知名度を改めて認識したとの報告でした。1年間素晴らしい経験をして頂く事を期待しています。

派遣交換留学生 萱垣 杏花さん 近況報告

チャイニーズカーニバルという中国の新年を祝うイベントにロータリーの学生数名と参加してきました。日本の国旗を背負い、大勢の人々の前に立つのはとても緊張しましたが、堂々と参加して頂くことができました。



さらに、ホストクラブのベルモントロータリークラブにて、パワーポイントを使ったスピーチをしました。テーマは、自分がどういう所から来たのか、どんなことをしていたのか、留学後のことについて、の三つを重点として話してきました。10分という時間は、まとめすぎると時間が余ってしまい、また、話したいことをすべて話切るには短すぎる、そんな時間だと感じました。とても緊張はしましたが、うまく日本を、高山市を紹介することができたと思います。驚いたことは、高山市の知名度です。20名ほどのクラブなのですが、その内4、5名ほどの方が、「高山に行ったことがある、知っている」とお声をかけてくださいました。改めて高山市を誇りに思いました。

最近の学校での楽しみは週に2度ある調理実習です。作るだけではなく、お客様に喜んでもらえるように作らなければなりません。飾り付けまで完璧にし、接客まで学ぶ教科は斐太高校にはない科目なので、将来役に立てる勉強ができて幸せに思いました。これまでに、パンケーキ、ミルクシェイク、キッシュ、クッキー、マフィン、スムージーなどを作りました。



<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

萱垣さん、本日のスピーチよろしくお願ひします。オーストラリアの楽しいお話しを楽しみにしています。大前さん、3/5の情報委員会セミナーで、RC活動についてしっかり学ばれた事と思います。今後の大活躍を期待しております。

●萱垣 敬慈さん

本日スピーチをさせていただきます。1年半ぶりのスピーチで緊張しています。お聞き苦しい所があると思いますがよろしくお願ひ致します。

●伊藤 松寿さん、挾土 貞吉さん、田近 毅さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、向井 公規さん、大村 貴之さん、長瀬 達三さん、山下 直哉さん、黒木 正人さん、松川 英明さん

本日の会員スピーチは萱垣敬慈さんです。先日訪問されたオーストラリアのお話しを楽しみにしています。ぜひここだけでしか聞けないようなエピソードもお話し下さい。どうぞよろしくお願ひします。

●ロータリー情報委員長 斎藤 章さん

5日に延び延びこなっておりましたロータリー情報委員会新会員オリエンテーションを開催出来ました。大前さん、米澤会長、鴻野幹事、副委員長 古橋さん、委員 田中武さんありがとうございました。

●大前 克秀さん

5日ロータリー情報委員会新会員オリエンテーションを受けました。非常に勉強させていただきました。ありがとうございました…が、その後の一杯があまりに良くてほとんど…です。また全国古民家再生の月刊紙ジャパトラを配布させていただきました。一読して頂ければ幸いです。

●挾土 貞吉さん

先週は社会奉仕(保護司会)のためやむなく欠席しました。在籍35年記念品ありがとうございました。おいしく頂きました。また当日43名の義務教育9カ年皆出席表彰での岡本先生の卓話会報を読み、これぞまさに教える立派な教育者だと感銘いたしました。直接お顔を見て話を聞いたかったです。残念…。

ロータリー：変化をもたらす